

《別紙2》

“防災週間”における「災害用伝言板(web171)」の  
ご利用条件、操作方法等について

1. 概要、提供状況等

「災害用伝言板(web171)」は、大規模災害等発生時にインターネットを利用した被災地の  
方々の安否情報を確認する手段として、2005年8月より「災害用ブロードバンド伝言板  
(web171)」を提供してまいりました。これまでご利用頂いた方々の声をもとに、スマートフォンへの  
対応や伝言登録の通知機能など、新たな機能を追加し、2012年8月30日から「災害用伝言板  
(web171)」として提供しております。

2011年3月の東日本大震災では約33万件<sup>※1</sup>のご利用をいただいております、これまでご利用頂い  
た方々の声をもとに、2016年3月18日より、災害用伝言ダイヤル(171)との連携等の機能を追加  
しそれぞれ登録された伝言内容を相互に確認が可能となりました。

なお、昨年の「防災週間」(2015年8月30日～9月5日)における体験利用の利用件数は、全  
国で約5万件<sup>※1</sup>でした。

※1 登録と閲覧の延べ件数です。

2. 運用時におけるご利用条件

項目		体験利用の場合	実際の災害発生時
安否情報の新規登録および追加登録	ご利用できる端末等	インターネットに接続ができるパソコン、 携帯電話及びスマートフォン等 <sup>※2</sup>	同左
	登録可能電話番号 (被災地電話番号)	全国の加入電話 <sup>※3</sup> 、ISDN、ひかり電話 および光コラボレーション事業者様が提 供するひかり電話サービス、IP電話(05 0の電話番号から始まるIP電話も含 む)、携帯電話、PHS	被災地内等の全ての加入電話 <sup>※3</sup> 、ISD N、ひかり電話および光コラボレーショ ン事業者様が提供するひかり電話サービ ス、IP電話(050の電話番号から始まる IP電話も含む)、携帯電話・PHS
	伝言入力方法	テキスト入力 (1伝言あたり100文字以下)	同左
	登録可能件数	20件 <sup>※4</sup>	同左 <sup>※4,5</sup>
	保存期間	体験利用期間	最大6ヶ月 <sup>※5</sup>
	多言語対応 <sup>※6</sup>	日本語、英語、中国語、韓国語	同左
	携帯事業者間との安否情 報の相互検索	株式会社 NTT ドコモ KDDI株式会社 沖縄セルラー電話株式会社 ソフトバンク株式会社	同左
	事前登録された連絡先へ の安否情報の連絡	メール: 10件 電話: 1件	同左
安否情報の 閲覧	ご利用できる端末等	インターネットに接続ができるパソコン、 携帯電話及びスマートフォン等 <sup>※2</sup>	同左

※2 機種によってはご利用いただけない場合があります。

※3 被災地の番号エリア設定は市外局番を単位とします。

※4 20件をこえる場合は、古い伝言から削除され、新しい伝言が保存されます。

※5 伝言の登録可能件数、保存期間は、災害の状況により異なります。最新の情報はNTT東日本、NTT西日本公式ホームページ等でご確認ください。

・NTT東日本 <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/news/index.html>

・NTT西日本 <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/news/>

※6 音声通知については、日本語のみとなります。

携帯専用 Web サイトについては、日本語と英語のみとなります。

## 【ご利用方法】

以下のホームページでご確認をお願い致します。

ONTT 東日本 <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>

ONTT 西日本 <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

## 【ご利用にあたっての留意点】

- ・家族や親戚、知人等との間で、登録の際の「キーとする電話番号」を予め決めておいてください。
- ・伝言の入力文字数に制限がありますので、ご注意ください。
- ・伝言を閲覧する場合は、登録の際の「キーとする電話番号」を指定することでご利用できます。
- ・メールや電話(音声)による伝言登録内容の通知機能をご利用頂く場合、通知先のお客様のご利用条件<sup>※7</sup>によっては通知先のお客様に通話料・通信料が発生します。

※7 メール通知をご利用の場合、パケット通信料がかかります。また、電話(音声)通知を転送電話サービスや海外での国際電話ローミングサービスにてご利用される場合は通話料がかかります。